

2017.2.4

ルベシベ山

793m

CL安藤 スキーL長沼 山岸 相馬 酒井 佐藤 笹山 八重樫 石井
スノーシューL近藤 永宮 及川 津川 鈴木 栗山

以上 15 名

★天候 曇り時々晴れ ★タイム トンネル脇(9:40)→尾根取り付(10:30)→Co550(11:30)mi→
気温-4℃ 最高到達点 Co700(12:10)→下山(12:30)→途中昼食→P 場(14:20)

計画書が届き改めて驚いた。日本は超高齢化社会を突き進んでいるが、我が山岳会はそれ以上に高齢化が進んでいる……。私も会に入り13年たつが、当時はみんな若かった。体力、技術、気力が充実していた。結構ハードな山行が多かったし、それを楽しんでいた！ような気がする。



そんなわけで稲穂トンネル集合、9:40に意気揚々と15人は出発。5~6名の先行グループがいるが、彼らは林道をショートカット、我々はラッセルしながら着実に林道を辿る。尾根に乗り斜度の緩い斜面をゆっくり進み、先行者のトレースと合流する。しばらくトレースを使わせていただくが、急斜面に差しかかり、トレースが急になると後方から悲鳴があがる。仕方がないので斜度を落としたルートに変更、再びラッセルが続く。

11:30を過ぎると山頂が見えてきて、噂の素敵斜面も視界に入ってくる。下山の滑りが楽しみだ。素敵斜面の上部でタイムアウトと相馬さんのスキーの不具合を無理やり理由にし、本日の頂上とする。(決して加齢は理由にしない!)

お楽しみの素敵斜面の滑走だが、斜度、雪質は申し分ない。問題は自分のスキルだ。ここ数年怠けているせいか、思うようなスキー操作ができない。あれ？あれ？と思っているうちに素敵斜面終了。皆も(除く相馬さん)も悪戦苦闘のようだ。(写真参考)途中、インディアンツェルトでランチを楽しみ14:20無事下山。楽しい一日でした。



以下、難儀絵図でした……

記 石井

